

## 日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1998年 2月 4日

出 願 番 号

Application Number:

平成10年特許願第038115号

出 願 人

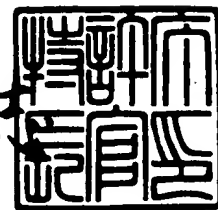
Applicant (s):

ブラザー工業株式会社

1998年11月13日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

平佐山 建志



出証番号 出証特平10-3092211

【書類名】 特許願

【整理番号】 BR0042

【提出日】 平成10年 2月 4日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明の名称】 インターネットファクシミリ装置及び該装置に使用する  
コンピュータ読み取り可能な記録媒体

【請求項の数】 4

【発明者】

    【住所又は居所】 名古屋市瑞穂区苗代町 1 5 番 1 号 ブラザー工業株式会  
社内

    【氏名】 松下 聡

【特許出願人】

    【識別番号】 000005267

    【氏名又は名称】 ブラザー工業株式会社

    【代表者】 安井 義博

【代理人】

    【識別番号】 100097168

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 杉原 一弘

    【電話番号】 0532-52-1801

【代理人】

    【識別番号】 100104514

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 森 泰比古

    【電話番号】 0532-52-1801

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 049755

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9709538

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インターネットファクシミリ装置及び該装置に使用するコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 プログラムされたコンピュータを利用して、送信先にインターネットを介してファクシミリ伝送を実施可能なインターネットファクシミリ装置であって、

既に運用されている電子メールアプリケーションプログラムに基づき登録したアドレス情報を読み込む読込手段と、

前記読み込んだアドレス情報を、インターネットファクシミリのアドレス情報として指定する指定手段と

を備えること特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項 2】 前記指定手段で指定されたアドレス情報を、インターネットファクシミリ伝送の送信先アドレスとして記憶するアドレス情報記憶手段と、

前記アドレス情報記憶手段から所望のアドレスを選択する選択手段とを備えることを特徴とする請求項 1 記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 3】 前記既運用の電子メールアプリケーションプログラムは、前記コンピュータ、又は前記コンピュータとは別のコンピュータ上で運用されているものであることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載のインターネットファクシミリ装置。

【請求項 4】 コンピュータに、

既に運用されている電子メールアプリケーションプログラムに基づき登録したアドレス情報を読み込ませる手順と、

読み込んだアドレス情報を、インターネットファクシミリ伝送の送信先アドレスとして記憶させる手順と

を実行させるプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネットを介してファクシミリ伝送を実施可能なインターネットファクシミリ装置、及び該装置に使用するコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、スキャナ、プリンタ、モデム等を付設したパーソナルコンピュータ（以下、「PC」と略す）等の外部情報処理装置に、インターネットファクシミリ伝送実行用のアプリケーションプログラム（以下、単に「アプリケーション」と記す）をインストールして、当該伝送を実施する装置が知られている。

【0003】

このような装置では、電子メール実行用のアプリケーションも運用することができる。そのアプリケーションでは、送信すべき相手先のアドレス情報を登録して、その登録アドレスから所望の相手先を選択すれば、アドレスを一文字一文字入力しなくても簡単にアドレスが確定できる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、かかる装置において、電子メールアプリケーションの登録済みアドレス情報をインターネットファクシミリ伝送用アプリケーションで利用することは、両者が別々のアプリケーションであることから、不可能である。

本発明は、上記の課題を解決するためになされたものであり、電子メールアプリケーションの登録済みアドレス情報を、インターネットファクシミリ伝送においても利用することが可能なインターネットファクシミリ装置、及び該装置に使用するコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、請求項1記載の発明は、プログラムされたコンピュータを利用して、送信先にインターネットを介してファクシミリ伝送を実施可能なインターネットファクシミリ装置であって、既に運用されている電子メール

アプリケーションプログラムに基づき登録したアドレス情報を読み込む読込手段と、前記読み込んだアドレス情報を、インターネットファクシミリのアドレス情報として指定する指定手段とを備えたものである。

上記のインターネットファクシミリ装置では、電子メールアプリケーションのアドレス情報として記憶されている情報を、それとは別のアプリケーションであるインターネットファクシミリ伝送実行用プログラムでの送信先アドレス情報として指定する。つまり、インターネットファクシミリ伝送実行用プログラムで利用する形式のアドレス情報とする。従って、そのアドレス情報を、インターネットファクシミリ送信先を特定する時に利用することができる。要するに、電子メールアプリケーションの登録済みアドレス情報を、インターネットファクシミリ装置で、転用することが可能である。

【0006】

請求項2記載の発明のインターネットファクシミリ装置は、前記指定手段で指定されたアドレス情報を、インターネットファクシミリ伝送の送信先アドレスとして記憶するアドレス情報記憶手段と、前記アドレス情報記憶手段から所望のアドレスを選択する選択手段とを備えるものである。

上記のインターネットファクシミリ装置では、電子メールアプリケーションのアドレス情報として記憶されている情報を、インターネットファクシミリ伝送実行用プログラムでの送信先アドレス情報として保存・記憶することができる。この保存・記憶によって、その後いつでも、電子メールアプリケーションに全く関わることなく、当該アプリケーションからから流用したアドレス情報を、インターネットファクシミリ装置で、利用することが可能である。

【0007】

請求項3記載の発明のインターネットファクシミリ装置では、前記既運用の電子メールアプリケーションは、前記コンピュータ、又は前記コンピュータとは別のコンピュータ上で運用されているものである。

【0008】

上記装置では、本装置の一部を構成しているコンピュータだけでなく、別のコンピュータで運用されている電子メールアプリケーションからのアドレス情報も

利用することができる。

【0009】

請求項4記載の発明の、コンピュータ読み取り可能な記録媒体は、コンピュータに、既に運用されている電子メールアプリケーションに基づき登録したアドレス情報を読み込ませる手順と、読み込んだアドレス情報を、インターネットファクシミリ伝送の送信先アドレスとして記憶させる手順とを実行させるプログラムを記録したものである。

【0010】

上記記録媒体に記載されたプログラムを実行すれば、電子メールアプリケーションのアドレス情報を、インターネットファクシミリ伝送を実行させるプログラムで利用できるアドレス情報として、複製・保存することができる。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を、図面を参照しつつ詳細に説明する。

図1は、本発明の一実施の形態に係るインターネットファクシミリ装置の概略構成を示すブロック図である。

【0012】

図示するように、このインターネットファクシミリ装置10は、画像処理部20と、PC30とからなっている。画像処理部20は、画像を読み込むスキャナ21、画像を印刷するプリンタ22、送信すべき画像情報を圧縮したり受信した画像情報を伸長する情報圧縮／伸長部23、上記情報圧縮／伸長部23で圧縮された画像情報を蓄積するための画像メモリ24、PC30との情報交換を可能とするPCインターフェイス部25を備えている。

【0013】

画像処理部20は、PCインターフェイス部25によって、PC30と（実際には、PC30のI/Oポート31と）接続している。

そのPC30は、CPU32及びメモリ33の他に、回線制御を行う回線制御部34や、信号の変調及び復調を行うモデム35を備えており、PC30のメモリ33には、電子メール実行用のアプリケーションと共に、インターネットファ

クシミリ伝送実施用のインターネットファクシミリアプリケーションがインストールされている。

【0014】

前者のアプリケーションは、周知のものであり、例えば、送信先の氏名に対応させて、その送信先のアドレスをPC30内のメモリ33の特定領域（電子メールアドレス登録領域33A）に記憶させることによって、その送信者のアドレス情報を登録しておくことができる。つまり、その後、送信先として、例えば氏名を、PC30上でキー入力すればそのアドレスをキー入力しなくても、その送信先に向けての電子メール送信を自動的に実行させることができる。

【0015】

後者のインターネットファクシミリアプリケーションは、スキャナ21で読み込んだ画像情報を情報圧縮／伸長部23で圧縮して画像メモリ24に蓄積し、その情報を、インターネット上に伝送可能な形式に変換し、PC30上で入力されたアドレスに向けてインターネットを介して送信するためのものである。また、そのアプリケーションは、インターネットを介して送られてきた画像情報を、以後の処理に合った形式に変換し、画像メモリ24に蓄積し、情報圧縮／伸長部23で伸長して、プリンタ22にプリントさせることができる。

【0016】

また、PC30のメモリ33には、上記インターネットファクシミリアプリケーションで使用するアドレス情報を記憶しておくためのインターネットファクシミリアドレス登録領域33Bも有している。

【0017】

図2は、図1に示したインターネットファクシミリ装置10と、それに接続されている通信網とを、概略的に示したブロック図である。

【0018】

この図に示すように、本装置10は、LAN50に接続され、また、公衆回線60とインターネット70とを介して、送信先ファクシミリ80へと接続されている。

【0019】



上記インターネットファクシミリ装置に接続されたPC30にインストールされ且つ既に運用されている電子メールアプリケーションの登録済みアドレス情報を、インターネットファクシミリアプリケーションで利用（転用）するための処理を、図3に示すフローチャートを参照して説明する。

【0020】

まず、電子メールアプリケーションのアドレス情報（つまり、幾つかの送信先のアドレスと、その送信先を同定するワード、例えば氏名とを対応させた情報が既に登録されている電子メールアプリケーションを起動させ（S10）、更に、インターネットファクシミリアプリケーションを起動させる（S20）。次に、後者のアプリケーションによる処理のうち、アドレス情報複製処理を開始させる（S30）。

【0021】

上記電子メールアプリケーションに依存して電子メールアドレス登録領域33Aに記憶してあるアドレス情報を探索し（S40）、その情報のデータ構造を解析する（S50）。各種電子メールアプリケーションそれぞれにおいてアドレス情報は固有の格納方法を採用しているので、実際に記憶されているアドレス情報の格納方法を知るため、このようにデータ構造を解析する。

【0022】

次に、データ構造の解析の結果に基づき上記アドレス情報を読み取る（S60）。次に、取り出したアドレス情報を、PC30のディスプレイ上に表示させる（S70）。

【0023】

その後、表示されたアドレス情報に、所望に応じて、住所、電話番号等の情報を追加する（S80）。それらの情報をインターネットファクシミリアプリケーションでのアドレス情報として指定するために、当該アプリケーションによる保存形式に従って、インターネットファクシミリアドレス登録領域33Bへ保存し（S90）、本処理を終了する。

このようにしてインターネットファクシミリ登録領域33Bへ登録したアドレス情報は、インターネットファクシミリアプリケーションに基づき個々にそこへ

登録したアドレス情報と全く同様にして、呼び出すことができる。

なお、本実施の形態においては、電子メールアドレスにインターネットファクシミリのアドレスとは同一の宛先人において共通化されている場合を想定している。しかし、両者が異なる場合でも、解析の方向いかんによりインターネットファクシミリ用アドレスとして登録可能である。

【0024】

以上のような処理を行うことによって、電子メールアプリケーションに基づいて既に登録してあるアドレス情報を、インターネットファクシミリアプリケーションで転用できる。従って、同じアドレス情報を、前者のアプリケーションにおけるのとは別に、後者のアプリケーションにおいて個々に登録する必要がなく、利用者の手間を省くことができる。

【0025】

上記の実施の形態は、単なる一例に過ぎず、例えば、S70でのアドレス情報表示や、S80での情報の追加や、S10での電子メールアプリケーション立ち上げを省略した形態で、処理を進行させることもできる。また、上記の実施の形態では、電子メールアプリケーションは、インターネットファクシミリアプリケーションがインストールされているのと同じPCにインストールされているものを利用したが、異なるPCにインストールされているものをPC同士の通信によって利用しても良い。

【0026】

【発明の効果】

以上詳細に説明したように、請求項1記載のインターネットファクシミリ装置では、電子メールアプリケーションのアドレス情報を、インターネットファクシミリ伝送実行用プログラムで利用するアドレス情報として指定し、そのアドレス情報を、インターネットファクシミリ送信先を特定する時に利用することができる。要するに、電子メールアプリケーションの登録済みアドレス情報を、インターネットファクシミリ装置で、転用することが可能である。

【0027】

請求項2記載の発明のインターネットファクシミリ装置では、電子メールアプ

리케이션のアドレス情報として記憶されている情報を、インターネットファクシミリ伝送実行用プログラムでの送信先アドレス情報として保存・記憶するので、その後いつでも、電子メールアプリケーションから流用したアドレス情報を、インターネットファクシミリ装置で、利用することが可能である。

【0028】

請求項3記載のインターネットファクシミリ装置によれば、本装置の一部を構成しているコンピュータだけでなく、別のコンピュータで運用されている電子メールアプリケーションからのアドレス情報も転用することができる。

【0029】

請求項4記載の記録媒体に記載されたプログラムを実行すれば、電子メールアプリケーションのアドレス情報を、インターネットファクシミリ伝送を実行させるプログラムで利用できるアドレス情報として、複製・保存することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施の形態に係るインターネットファクシミリ装置の概略構成を示すブロック図である。

【図2】

上記インターネットファクシミリ装置と、それに接続されている通信網とを、概略的に示したブロック図である。

【図3】

パーソナルコンピュータにインストールされ且つ既に運用されている電子メールアプリケーションの登録済みアドレス情報を、インターネットファクシミリアプリケーションで転用するための処理を示すフローチャートである。

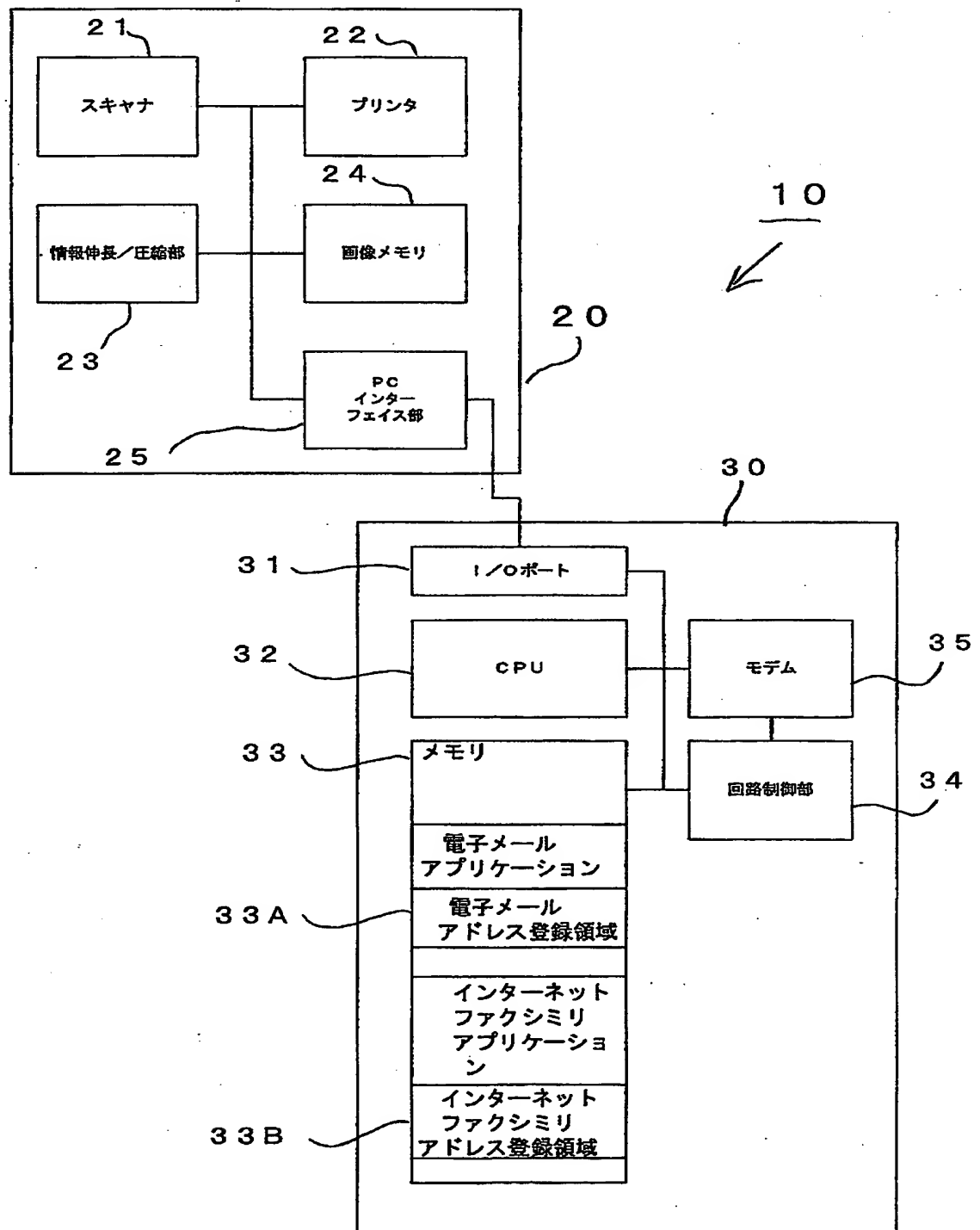
【符号の説明】

- 10 インターネットファクシミリ装置、20 画像処理部、
- 21 スキャナ、22 プリンタ、23 情報伸長／圧縮部、
- 24 画像メモリ、25 パーソナルコンピュータインターフェイス部、
- 30 パーソナルコンピュータ、31 I/Oポート、
- 32 CPU、33 メモリ、34 回路制御部、35 モデム。

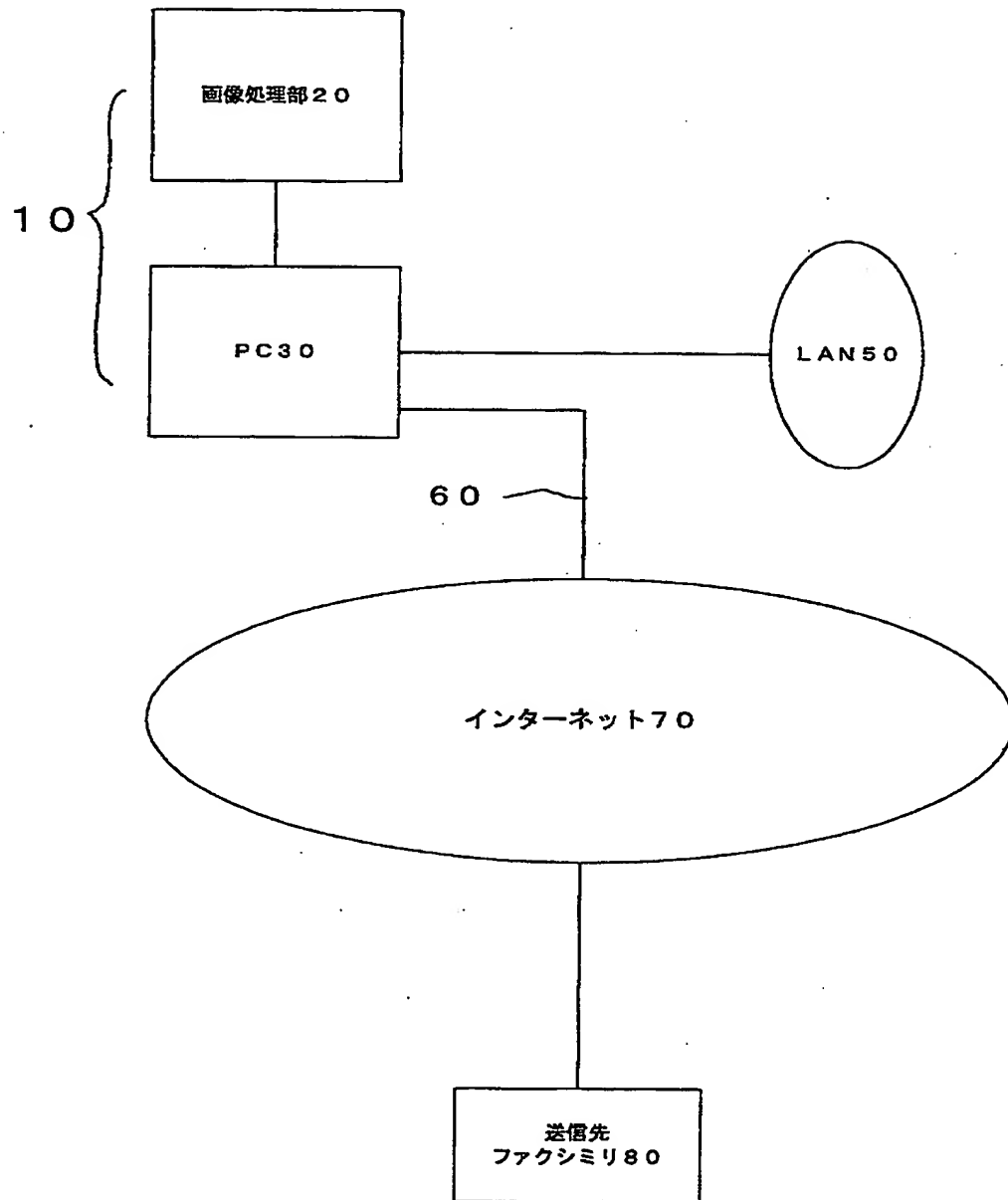
【書類名】

図面

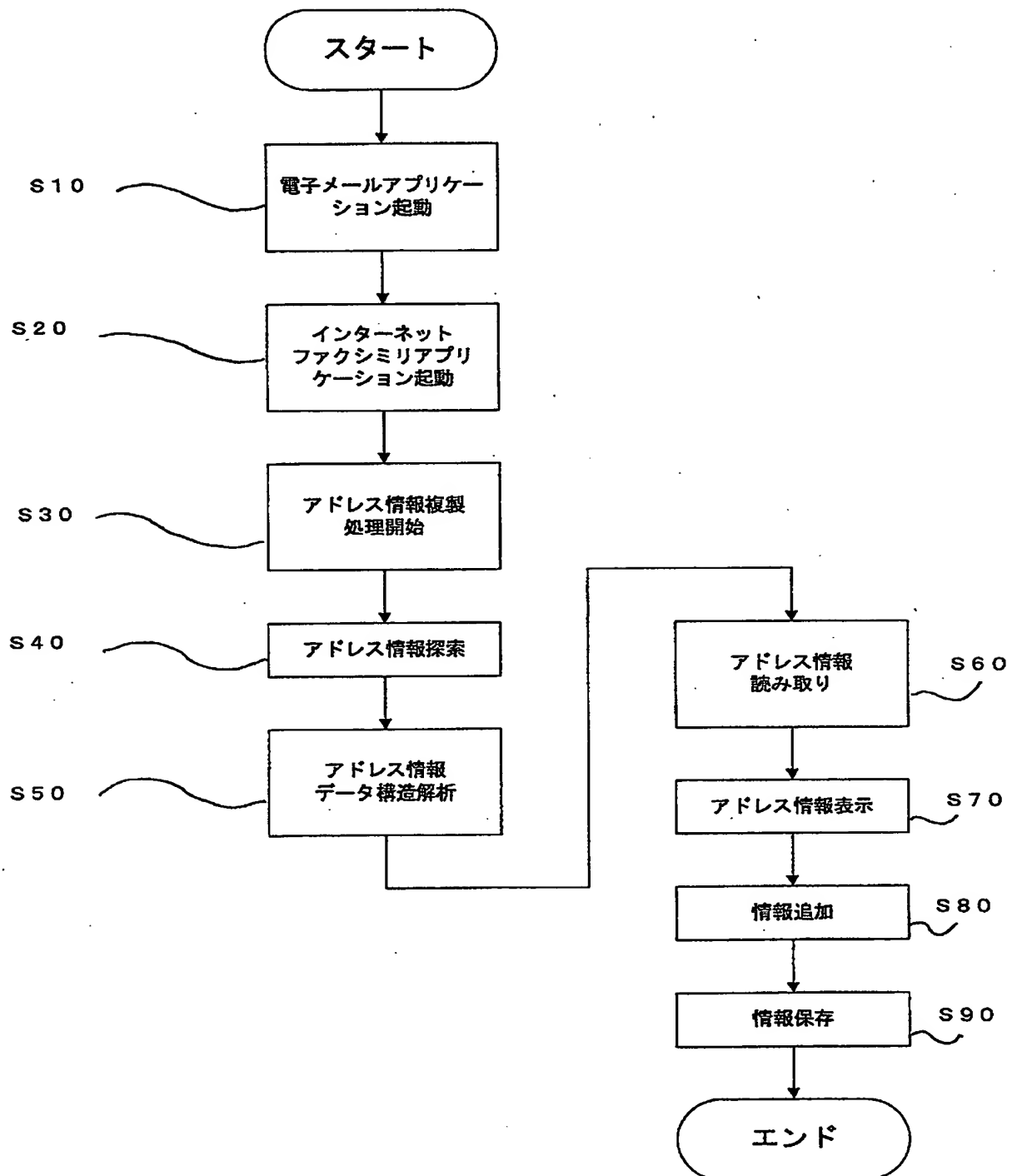
【図1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 電子メールアプリケーションの登録済みアドレス情報を、利用することが可能なインターネットファクシミリ装置等を提供する。

【解決手段】 電子メールアプリケーションと、インターネットファクシミリアプリケーションを立ち上げる（S10、S20）。次に、後者のアプリケーションによる処理のうち、アドレス情報複製処理を開始させる（S30）。電子メールアドレス登録領域33Aに記憶してあるアドレス情報を探索し（S40）、その情報のデータ構造を解析し（S50）、その解析結果に基づき上記アドレス情報を読み取る（S60）。そのアドレス情報を、PC30のディスプレイ上に表示させ（S70）、住所等の情報を追加する（S80）。それらの情報をインターネットファクシミリアプリケーションによる保存形式に従って、インターネットファクシミリアドレス登録領域33Bへ保存し（S90）、本処理を終了する。

【選択図】 図3

【書類名】 職権訂正データ  
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】  
【識別番号】 000005267  
【住所又は居所】 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15 番 1 号  
【氏名又は名称】 ブラザー工業株式会社  
【代理人】 申請人  
【識別番号】 100097168  
【住所又は居所】 愛知県豊橋市吉田町 203 番地 森・杉原特許事務  
所  
【氏名又は名称】 杉原 一弘  
【代理人】 申請人  
【識別番号】 100104514  
【住所又は居所】 愛知県豊橋市吉田町 203 番地 森・杉原特許事務  
所  
【氏名又は名称】 森 泰比古



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005267]

1. 変更年月日 1990年11月 5日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号  
氏 名 ブラザー工業株式会社